

緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	山梨県峡南地域県民センター 南巨摩合同庁舎 (富士川町)		
育てた植物の種類	朝顔、メロン、ゴーヤ、インゲン豆、ツルムラサキ		
設置場所	庁舎正面入口までの通路(スロープ)		
カーテンの大きさ	高さ: 約 2.3 m, 幅: 約 8 m	取り組み年数	1年目

緑のカーテンの効果

朝顔による鮮やかな緑のカーテン回廊ができたので、庁舎を訪れる方々や職員に対して、見た目も涼しく清涼感を与える効果がありました。

水やりの際に、今まで話したことのない他所属の職員と会話をするなど、庁舎内の職員の交流に繋がりました。

育てる際の工夫・苦労

職員が育てた朝顔の種やメロンの苗を利用したり、カーテンの支柱には職員の家にある竹を利用するなど、費用がかからないように工夫しました。苗を定植する前に土を掘り起こして、化成肥料や腐葉土などで土づくりを行いました。

水やりについては、栽培して間もない頃は朝と夕方に1回ずつ行い、大きく生長してからは、朝と夕方のどちらか1回たっぷりに行いました。追肥は週に1回程度行いました。病害虫の被害として目立ったものはありませんでした。

感想・楽しみ方など

メロン、ゴーヤ、インゲン豆も立派に実がなり、皆で試食をすることができました。植物の生長や実り、花の咲き具合などを庁舎の職員全員で楽しむことができました。

朝顔の発芽率は100%に近く、余った苗を来庁者の方に配布することもできましたが、ゴーヤの発芽率は悪く、生長に時間がかかったため、もっと早い時期からたくさんの種を蒔いて苗を育てる必要があったように思います。